



おしじょう
忍城



つうしん
通信

しんしゅんごう
新春号
No.72

しせいしごう しゅうねんきねん はくがくれんげいでんじ
市制施行75周年記念 博学連携展示

行田市のうつりかわり



がつ にち ど がつ にち にち
2月1日(土)~4月6日(日)

ぎょうだし ねん
行田市ができてから、75年がたちました。

まちのようす がっこう ひと
まちの様子や学校、人びとのくらしは
どのように変わったのでしょうか？



きゅうしよく
むかしの給食だよ！
びんに入っているのは
なんだろう？



しょうわ ねん ちゅうおうしょうがっこう げんざい おしじょうがっこう きゅうしよく
▲昭和46年(1971)中央小学校(現在の忍小学校)の給食



どうぐ
道具のうつりかわりも
見てみよう

すみび
炭火アイロン



なんの道具かな？

いた
せんたく板



たてもん どうろ ようす
建物や道路の様子も
いとちがっているね



たらい

せいかい きょうどはくぶかん
正解は…郷土博物館で!!

れいわ ねん がつ にちはごう
令和7年1月15日発行
へんしゅう はっごう きょうだし きょうど はくぶかん
編集・発行 行田市郷土博物館
〒361-0052
ぎょうだし ほんまる
行田市本丸17-23
ホームページは
こちらから▶



かいかんじかん げんざんじ こごしじ ぶん にゅうかん こごしじ
開館時間 午前9時~午後4時30分 (入館は午後4時まで)
きゅうかんび がつ にち
休館日 1月20・24・27日
2月3・10・12・17・25・28日
3月3・10・17・21・24・28・31日

にゅうかんりょう おとな えん だんたい えん こうこう だいがくせい えん だんたい えん しょうちゅうがくせい えん だんたい えん
入館料 大人200円(団体160円) 高校・大学生100円(団体80円) 小・中学生50円(団体40円)

とあ じこう がつ はっごうよてい
お問い合わせ TEL 048-554-5911 ●次号は4月なかばごろに発行予定です●

3/15
(土)

ミニ足袋マスコットをつくろう

糸と針で布をぬって、

手のひらサイズのかわいい足袋をつくろう!

本物の足袋の型紙を、そのまま小さくして使います。

足袋職人さんになったつもりで、つくってみよう!



布のもようは
当日に選べます

【時間】 集合:午後1時30分
終了:午後3時30分予定(完成した人から解散)

【定員】 25名(事前申込、先着順)

【対象】 小学生以上

【申込方法】 電話にて 048-554-5911 / または来館して受付にて

【場所】 郷土博物館 会議室

【費用】 無料

【その他】 * 道具は会場で貸し出しますが、自分のおさいほうセットを使いたい方は、当日お持ちください。

* 小学生のお子様には大人の方が付き添ってご参加ください。

* 針やハサミなど、道具は気をつけて使いましょう。

* 大人の方も参加できます。



知ってる?

むかしの道具クイズ



これは、「たち包丁」という道具です。
なんのために使う道具でしょう?

- ① 食べものを切るため
- ② 木を切るため
- ③ 布を切るため



本物は郷土博物館で見られるよ!

「たち包丁」は、布を切るための道具です。昔は、足袋の材料になる布を「たち包丁」で少しずつ切っていました。今は機械(裁断機)を使って、一度にたくさん布を切ることが出来ます。

③布を切るため

